

京都子ども探究博開催 in ATVK (アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都)

「京都子ども探究博」in ATVK を9月16日に開催 ～ものづくりで子どもの探究心を刺激～

京都が持つ文化・芸術の力を活かしてアートとテクノロジーを融合し、新たな産業の創出や次世代を担う人材育成を目指す創造拠点アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都(ATVK)では、イノベーションの創出を目的としたテーマ別の部会を立ち上げました。

部会の一つ「子どもの能力開発部会」が中心となって「京都子ども探究博」を開催し、未来のものづくり人材やエンジニアの卵を集めて京都のものづくり企業とのコラボによる知的好奇心・探究心を刺激するワークショップ、ブースでの体験企画や展示等を行いました。

先行イベントinイオンモール京都桂川 8月11日(日)・(祝)～16日(金)開催

「京都子ども探究博」の第1部では、イオンモール京都桂川にて、ロボットと京都のものづくりをテーマとしたイベントを開催。ロボットに興味を持つ熱心な参加者が集い、最終日には白熱した対戦なども実施しました。

協力：イオンモール(株)、(一社)次世代ロボットエンジニア支援機構、(株)OpEL

出展企業：TOWA(株)、ミツフジ(株)、ニチコン(株)、(株)SCREEN PEソリューションズ、サムコ(株)



京都子ども探究博プログラム@ATVK 9月16日(月)・(祝)開催

オープニングセレモニーで、西脇隆俊京都府知事が「ATVKは、新しい産業の創出や人材育成を目的としたイノベーション拠点として開設しました。本日は子どもたちに、京都の企業や大学の持つ新しい技術に触れ、ものづくり産業に関心を持つとともに、さまざまな体験を新たな発見や学びにつなげてほしい」と開催の主旨を述べ、京都子ども探究博が幕を開けました。京都のものづくりに関わる企業や団体(京都機械金属中小企業青年連絡会、(一社)京都試作ネット、(一社)ブレインインパクト)が、ワークショップや展示を実施。(株)OpELによるカラクリおもちゃ作りや、マクセル(株)による手作り乾電池教室、TOWA(株)のスマートフォンの内部展示、ミツフジ(株)のスマートウォッチ体験など、子どもたちは、さまざまな展示・体験を楽しみました。また、屋外ステージでは、お箏伝承の会大山崎によるお箏演奏やお箏体験、東映太秦映画村の演者による迫力あふれるチャンバラショー、未来アントレプレナー賞の表彰式などが開催されました。その他「脳の健康」に

関する講演会、屋外でのニューモビリティ試乗やシャボン玉ショー、東洋音響(株)のドローン教室など、さまざまなイベントを開催。2,000名を超える多くの人で賑わい、大盛況の一日となりました。



1 ワークショップ(ヤッターワン製作体験/京都機械金属中小企業青年連絡会)

ATVKの交流棟前に設置された「ヤッターワン」の巨大模型の製作に使われている技術(切削、板金、鋳造、塗装、メッキ、溶接)を体験しました。切削や板金では、フライス盤やプレス機を使って機械加工に挑戦。鋳造では、型にすずを流し込み、研磨仕上げを体験しました。その他いくつかの溶液に浸けるメッキ工程やスプレーによる塗装も楽しみました。

また溶接ショーでは、迫力満点の溶接工程を見学。椅子や看板を作る工程を間近に見ました。



【板金体験】工作が好きで、やってみたいと思いました。機械に載せて力いっぱいレバーを押したら、すごく硬い板が曲がって、楽しかった。今日はスプーンを作ったけれど、他のモノも作ってみたいです。

【切削体験】自動でアルファベットを彫っていくのが、格好良かったです。名前のイニシャルの入った自分だけのネームプレートができて、嬉しいです。

【鋳造体験】工作したり、絵を描いたりするのが好きなので、おもしろかったです。将来、私も何かを作る仕事をしてみたいと思いました。

2 ワークショップ(ヒラメキジム／一般社団法人ブレインインパクト)

脳の健康指標(BHQ)を可視化する技術を使って、「ヒラメキスポーツテスト」を実施しました。子どもたちはスマートグラスを装着し、「けん玉」「ロデオ」「野球盤ゲーム」に挑戦。スポーツ中の脳の健康状態を計測し、集中型、耐久型、競争型のヒラメキタイプに分類。どのようなスポーツをしている時に、自分がヒラメキやすいかを発見しました。



【Aさん】3競技とも初めて挑戦しました。特にけん玉が楽しかったです。計測の結果は、意外にもロデオが高得点で耐久型でした。ふだんは本を読んだり、カードゲームをしたりするのが好きです。好きなことをしている時は、時間を忘れて集中しています。

【Bさん】特にロデオがおもしろかったけれど、高得点はけん玉だったのが、意外でした。「何かに集中している時に、おもしろいことをヒラメキかも」「野菜をしっかり食べよう」と、教えてもらいました。

3 ワークショップ(ものづくり体験Workshop!／一般社団法人京都試作ネット)

「鏡面仕上げ&レーザー彫刻」と「簡単プログラミング」のワークショップを通じて、製品の開発や試作に欠かせない技術を体験しました。「鏡面仕上げ&レーザー彫刻」では、金属のチップを研磨機で鏡のように磨き上げ、レーザー彫刻では、自分の描いたデザインがレーザーで刻まれるのを体験。自分だけのキーホルダーを完成させました。「簡単プログラミング」では、チームで協力してアームロボットを制御し、コンテナを移動させるミッションに挑戦しました。



【レーザー彫刻】レーザーが自動で僕の描いたそのままの形に彫っていて、ビックリしました。どういう仕組みが全然わからない。どうやったらこんなことができるのか、もっと知りたいと思いました。

【簡単プログラミング】みんなで相談しながら、一緒にしたのが楽しかったです。クレーンを持ち上げる角度を調節するのが難しかったけど、教え合っとうまくできました。プログラミングはまだ学校でも習っていないけど、またやってみたいです。

4 未来アントレプレナー賞(協力:株式会社GK京都)

「君はどう使う?New Mobilityの活用法を考えよう!」をテーマに、アイデアコンテストを実施しました。会場には、New Mobilityとして、低速小型EVのミニマム移動促進モビリティ「バトラーカー」(GK京都)、「乗れるロボット」という次世代スマートモビリティ「RODEM(ロデム)」(テムザック)が登場。子どもたちに試乗してもらい、その活用法を募集しました。多数の応募の中から金賞1名、銀賞2名、銅賞4名選出し、表彰するとともに、メダルを授与しました。

【金賞】 中澤実咲さん

テーマ:「うみではしらせる」にします

絵を描くのが大好きです。家族で沖縄の喜界島に行ったことを思い出して、海を走れるクルマがあったらいいなと思い浮かびました。今日乗った「バトラーカー」をイメージして、運転手さんとお兄ちゃんを描きました。金メダルをかけてもらって、ビックリしたけれど、嬉しかったです。



まとめ ～京都子ども探究博を終えて～

ものづくりの体験イベントへの関心は想像以上に高く、予想を超える数の来場者にお越しいただきました。このようなイベントをきっかけに、子どもたちがものづくりを身近に感じるようになり、さらなる探究心が養われていくことで、将来、京都のものづくり産業を支える人材となって活躍されることを期待します。京都産業21は将来を見据え、人材育成に資する取組を継続しながらATVK発となるイノベーション創出に向けて更なる挑戦を続けてまいります。